

高松市立仏生山小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

豊かな心をもち 自ら考え実行し たくましく生きる子どもを育てる
～「命を守る」「正しく学び受け継ぐ」「役立つ」～

【本校現状と課題】

- ①「新体カテスト（R3年度）」の数値分析の結果より
 - 高学年男子が総合得点で県平均を下回っている。
 - 男女とも、複数の学年で握力の値が県の値を下回っている。またソフトボール投げの記録も下回っている学年が多い。
- ②「運動に対する意識・運動習慣」についての分析（R3）より
 - 「運動が好き・どちらかといえば好き」と答えた児童が89.6%と90%をきっている。
 - 「体育の授業が好き・どちらかといえば好き」という児童は91.8%と「運動が好きかどうか」の設問より肯定的に捉えており割合が高い、教員の体育授業への工夫が見られる。
 - 「週に1回以上、30分間の昼休みに外遊びをしているか」という設問に対して、「できていない」という児童が14.6%いる。
 - 「学校以外で運動をしているか」という設問に対して、「全くしていない」と答えた児童が5.8%いる。

【取組み】

パワーアップタイム

毎週火曜日の朝の時間に、体力づくりに継続的に取り組むことにより本校の課題を解決し、運動の日常化を図ることができるようにする。実施にあたっては、感染症対策を加味し、クラスごとで行うようにする。
また縄跳び等各種運動について「がんばりカード」を全学年に配付し、休み時間等にもチャレンジできるようにすることで、児童の意欲付けを図る。



全校外遊び

1週間の総運動時間を延ばすために、火曜日昼休みを「外遊びデー」として設定し、できるだけ外に出て遊ぶようにする。雨天時には体育館を学年輪番制にして使用する。
また児童たち自らが「外遊びデー」を意識できるように、毎週火曜日の給食の時間に、放送委員会児童による呼びかけを行う。



握力・投力を高めるために

固いボールでは運動が苦手な児童がよりボール運動を避ける傾向があるのではないかと考え、全クラスに柔らかい素材のボールも配付し、使用するよう呼びかける。また「がんばりカード」の中の項目に、ボール投げやボール操作に関わる運動を取り入れる。

【目標】

- ①握力やソフトボール投げの記録を県平均に近くする。
- ②「運動が好き」と肯定的にとらえる児童の割合を90%以上にする。
「週に1回以上、30分間の昼休みに外遊びをしているか」という設問に対して、「できていない」という児童が10%をきるようにする。